

まちづくりの経緯

昭和 39年 10月	鈴蘭台幹線・鈴蘭台環状線の都市計画決定	平成 22年 11月	「鈴蘭台駅前整備イメージ図」作成
昭和 55年	鈴蘭台駅前再開発懇談会の実施	平成 23年 9月	市街地再開発事業等の都市計画決定
昭和 58年	再開発等に関する駅前住民のアンケートの実施	平成 25年 3月	鈴蘭台駅前地区再開発事業の事業計画決定
昭和 62年	「鈴蘭台駅周辺を美しくする会」発足	平成 26年 3月	管理処分計画決定
平成 5年	「鈴蘭台駅周辺整備を考える会」発足	平成 26年 7月	特定建築者決定
平成 7年	阪神・淡路大震災	平成 27年 3月	再開発ビル着工
平成 11年 10月	「鈴蘭台駅前再開発検討部会」の設置	平成 30年 9月	再開発ビル開業
平成 18年 ~	計7回の鈴蘭台幹線に関する意見交換会と現地相談の開催	平成 30年 10月	駅前広場および周辺道路の工事着工
平成 20年 8月	鈴蘭台幹線の都市計画変更	令和 2年 2月	駅前広場の供用開始
平成 20年 11月	鈴蘭台幹線の駅前区間および駅前広場の事業着手	令和 2年 7月	周辺道路の工事完了
平成 21年 4月	「鈴蘭台駅前整備の基本方針」を取りまとめ	令和 2年 9月	鈴蘭台交番の移転

再開発事業などの緒元

[[再開発事業の概要]]

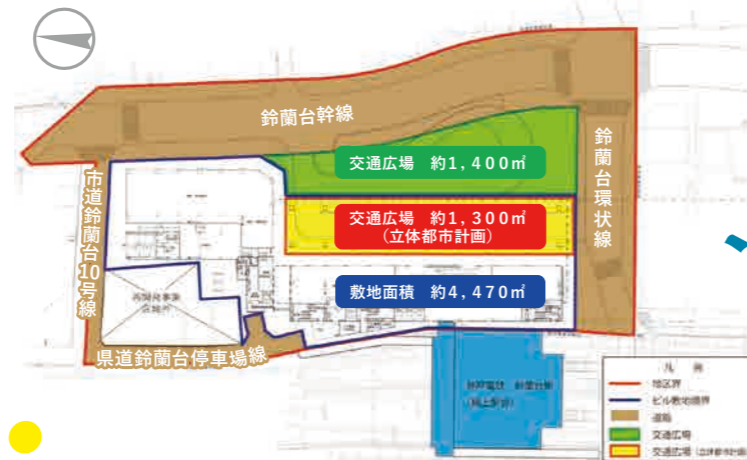
事業の名称	鈴蘭台駅前地区第二種市街地再開発事業
所在地	兵庫県神戸市北区鈴蘭台北町1丁目
施行者の名称	神戸市
施行面積	約1.1ha
事業年度	平成24年度～令和2年度

[[再開発ビルの概要]]

敷地面積	約4,470㎡(交通広場含む)
構造・階数	鉄骨造・7階建て 1階～3階:商業・業務施設 4階～7階:北区役所
建築面積	約3,720㎡(建ぺい率約83%)
延床面積	約22,870㎡(容積率約409%)
駐車台数	約120台
駐輪台数	約100台
特定建築者	大和リース株式会社

[[公共施設の概要]]

交通広場	約1,400㎡
交通広場 (立体都市計画部分)	約1,300㎡
鈴蘭台幹線	幅員20m、延長約140m
鈴蘭台環状線	幅員16m、延長約60m
県道鈴蘭台停車場線	幅員約4m、延長約55m
市道鈴蘭台10号線	幅員約8m(区域内約4m)、延長約50m



鈴蘭台駅周辺の状況



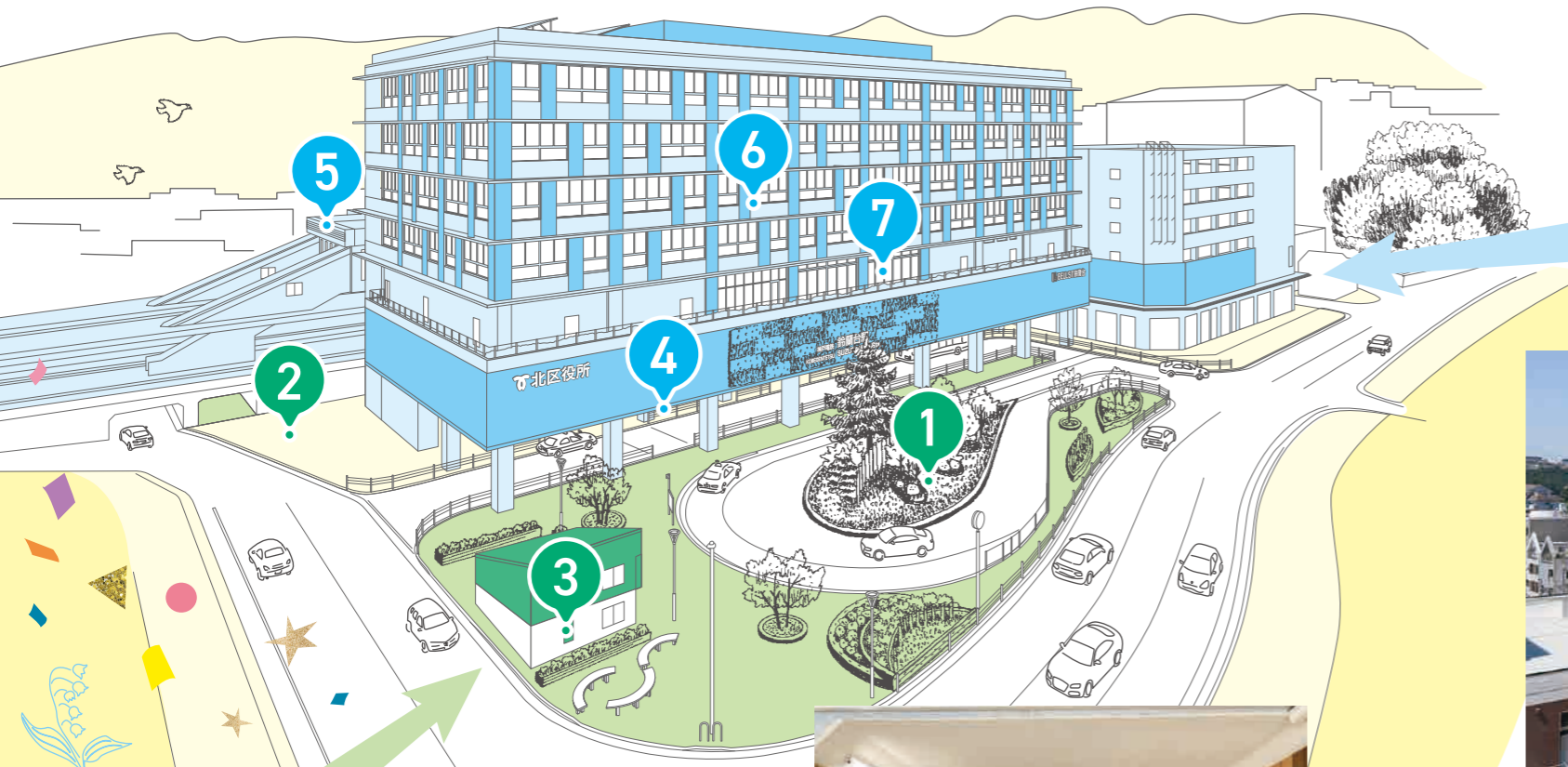
TOWN DEVELOPMENT AROUND
SUZURANDAI STATION

鈴蘭台 駅前周辺の まちづくり



鈴蘭台駅周辺が変わりました！

TOWN DEVELOPMENT AROUND
SUZURANDAI STATION



再開発ビル(平成30年度完成)

Redevelopment building



5 駅舎を橋上化&バリアフリー化しました！

新たな駅舎を再開発ビルの3階と繋げ、ビルの中にエレベーターやエスカレーターを設置することでバリアフリー化されました。また、再開発ビル1階入り口に電車の発車時刻が分かる電子看板を、駅改札コンコースにバス発車時刻案内を設置しました。

4 再開発ビルにバス・タクシーが！

再開発ビル1階は、ピロティ形状になっており、立体利用による交通広場として、バス・タクシーの乗降場を準備しました。電車・バス・タクシー相互の乗り換えが安全でスムーズになりました。

再開発ビル周辺(令和2年度完成)

Around Redevelopment building

1 駅前広場を整備しました！

再開発ビルの東側には、タクシー乗り場もあるロータリーを整備。車で駅への送迎も便利になりました。さらに、周囲の花壇やプランターが街並みに潤いを与えています。

2 高架下通路がきれいになりました！

神戸電鉄の高架下(旧駅舎内通路部分)を、歩行者が東西方向に行き来できるように神戸電鉄のご協力により、美装化しました。

3 鈴蘭台交番が駅前広場に移転しました！

旧鈴蘭台交番は、駅から離れた場所にあったため、地域から駅前への移転が要望されていました。今回の再開発に合わせて駅前広場へ移転され、駅前の安全性が向上しました。

7 楽しく賑わう空間を！

再開発ビルの3階に“すずらん広場”というイベントスペースができました。季節のイベントや、展示会、物品販売などを行うほか、誰でも自由に演奏できるストリートピアノを設置し、賑わいと地域の交流を創出する場となっています。

6 北区役所が移転しました！

旧北区役所は、急な坂のうえにあったことや、庁舎の老朽化が進み、耐震性の不足や、バリアフリーの未対応などの課題がありました。駅直結の再開発ビルに移転することにより利便性が向上し、公共サービスを高めることができました。



Q 鈴蘭台ってどんなまち?

まちの歴史

鈴蘭台は、昭和3年から宅地の開発が始まり、戦前は避暑地、高級住宅地として栄え「関西の軽井沢」とうたわれていました。

現在のような大規模な団地開発は、主に昭和30年代より進められ、市街地のベッドタウンとして大きく発展し、現在でも自然環境に恵まれた住環境を形成しています。

神戸電鉄鈴蘭台駅には有馬線と粟生線の列車が入線し、また路線バスやタクシーが行きかうなど、北区の交通結節拠点としても栄えています。



Q なぜ再開発事業に取り組んだの?

事業に至った経緯

鈴蘭台駅前には、北区の玄関口としての役割を期待される一方、小規模開発の繰り返しによってまちの整備が進められたことから、駅前是非常に狭く、自動車交通や歩行者などで混雑して大変危険な状況でした。

また、団地開発から40年以上が経過し、住民の高齢化が進むとともに、買入れ物のしかたが変化し、駅前周辺の賑わいが失われつつありました。

さらに、鈴蘭台駅前には木造の建物が建ち並んでおり、防災上の課題も抱えていました。

そこで、昭和39年の鈴蘭台幹線・鈴蘭台環状線の都市計画決定以降、地域の方々が主体となり、様々なまちづくり活動が行われてきたことにより、平成24年度によく地域の方々の熱い思いが実り、交通安全の確保と北区の玄関口にふさわしいにぎわいづくりを図るために、「鈴蘭台駅前地区第二種市街地再開発事業」を進めることになりました。



Q 再開発事業に取り組んで どう変わったの?

BEFORE

- 道路が狭く、自動車や歩行者などで混雑して危険
- 路線バスやタクシー乗り場が分かりにくい
- 花や緑が少なく、居心地の良い空間が少ない
- 駅前がもっと賑わったら良いのに
- 北区役所が駅から遠くて不便
- 車いすやベビーカーで駅に行きにくい

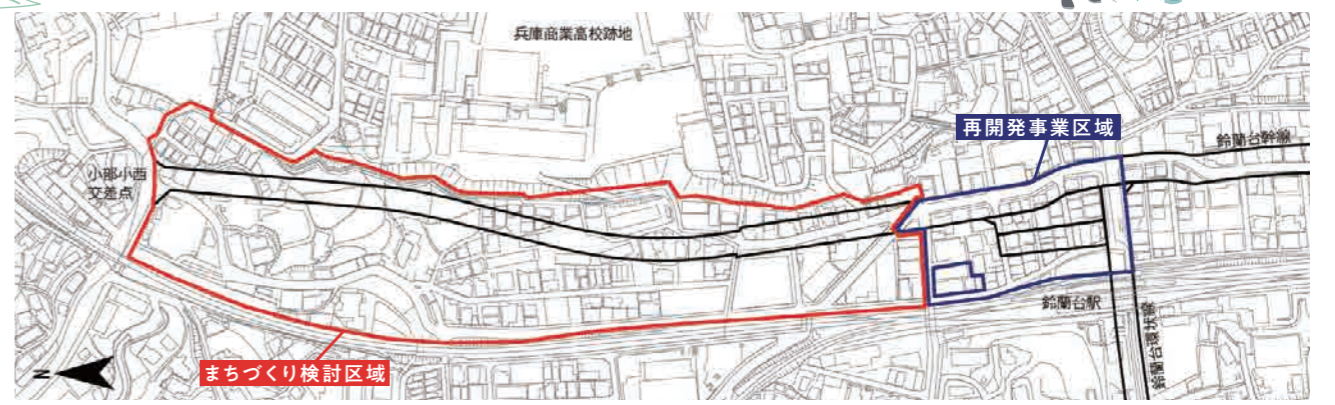
AFTER

- 道路や歩道が広くなり、安心して歩けるようになりました。また、ロータリーも整備されて、自動車でも安心して駅前に来られるようになりました
- 再開発ビルや、駅前広場に集約されて分かりやすくなりました
- 駅前に花や緑が増えて、歩いて楽しい空間になりました
- 駅前で営業されていた店舗の他にも、新しい店舗が入居し、すずらん広場ではイベントが開催されるなど、活気のある空間になりました
- 再開発ビル内に入り、行政手続きが便利になりました
- 橋上化された駅の改札とビルが接続され、ビル内には駐車場が整備されたことにより、バリアフリー動線が確保されました



今後の取り組み

鈴蘭台駅北地区のまちづくり



鈴蘭台駅前の再開発事業に併せて、交通安全の確保と鈴蘭台駅前へのアクセス性向上を図るため、鈴蘭台幹線北区间(小部小西交差点~再開発事業区域(L=540m))を先行的に整備する予定です。令和2年7月には、鈴蘭台駅北地区まちづくり協議会より、まちづくり構想の提案を受けました。その内容を踏まえ、鈴蘭台幹線周辺を含めたまちづくり及び旧兵庫商業高校跡地の活用方法等について検討を進め、土地区画整理手法を活用したまちづくりを進める予定です。

	～令和元年度	令和2年度	令和3年度～
鈴蘭台幹線北区间	まちづくり協議会設立に向けた準備会開催	まちづくり協議会設立	まちづくり構想提出
旧兵庫商業高校跡地活用	サウンディング型市場調査	跡地利用方針とりまとめ	
		事業実施に向けた手続き	事業着手
			先行整備区間の整備 (小部小西交差点～兵商跡地への進入路)
			幹線の整備
			校舎解体

鈴蘭台の今昔

鈴蘭台幹線の様子



旧鈴蘭台駅周辺の様子



提供：神戸電鉄株式会社

駅名の由来

小部駅という名称を、昭和7年に公募により変更。健康の花言葉を持ち「関西の軽井沢」のイメージに合う「スズラン」の名前を取って命名されました。

